

卒業生アンケート集計

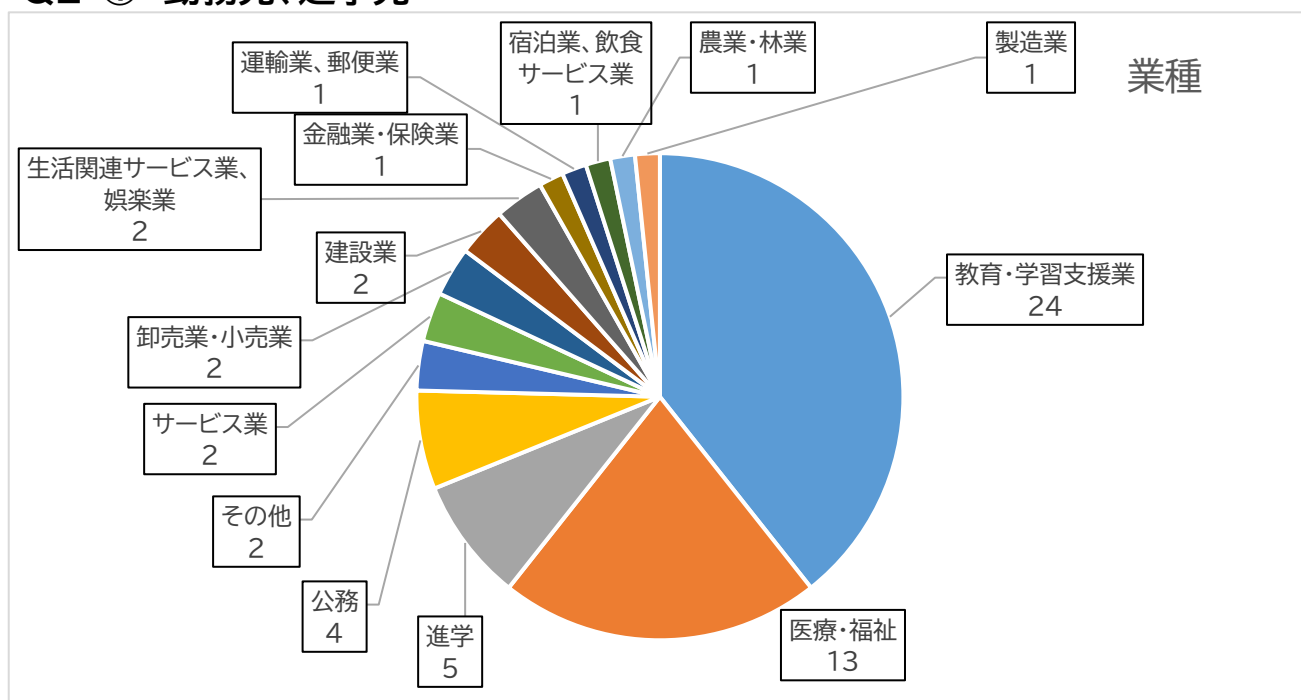
2023年6月1日発送 178名(対象は2022年3月卒業生)

2023年6月15日締切

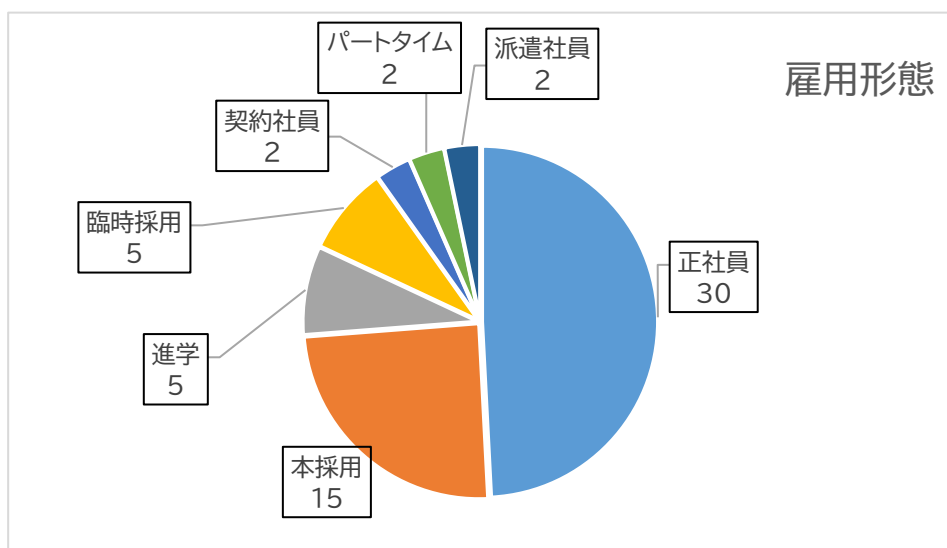
	発送数	宛先不明	回答数	回答率
キャリア・イングリッシュ専攻	47	2	13	28.8%
保育コース	36	2	14	41.1%
児童教育コース	27	0	7	25.9%
心理臨床学科	68	3	27	41.5%
計	178	7	61	35.6%

有効配達171先に対し回答件数61件 回答率35.6%

Q2-① 勤務先、進学先



Q2-② 雇用形態



Q2-③ 退職、転職等

- ①47名:退職していない(77.0%)
- ②4名:大学院で学んでいる(6.5%)
(児童教育1名 心理臨床学科3名)
- ②4名:転職した(6.5%)
(キャリア・イングリッシュ専攻1名
保育コース1名 児童教育1名
心理臨床学科1名)
- ③4名:就活中、退職後何もしていない(6.5%)
(キャリア・イングリッシュ専攻2名
保育コース1名 心理臨床学科1名)
- ④他大学で学んでいる:(心理臨床学科)1名(1.6%)
- ⑤未入力:(心理臨床学科)1名(1.6%)

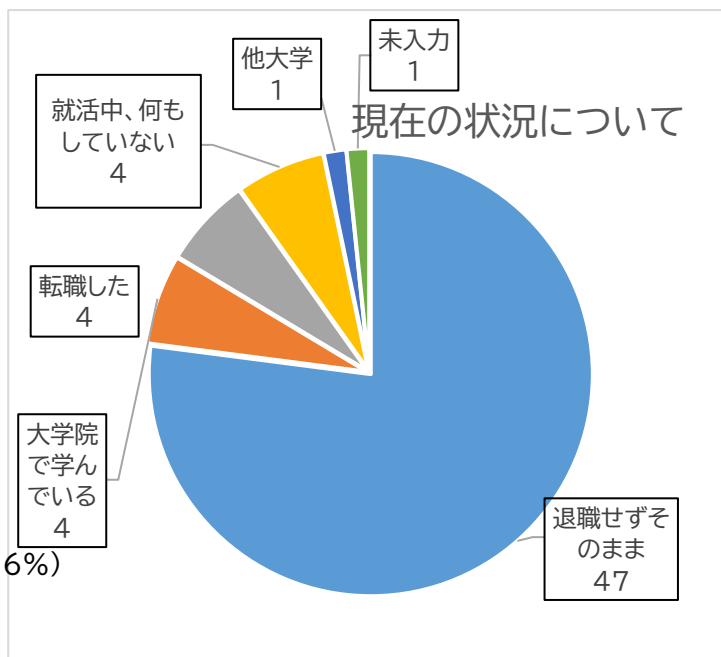
合計 61名

* 転職した理由

一身上の都合 別のやりたい仕事が見つかった 職場の雰囲気 勤務地

* 転職後の業種

教育、学習支援業 医療、福祉 製造業

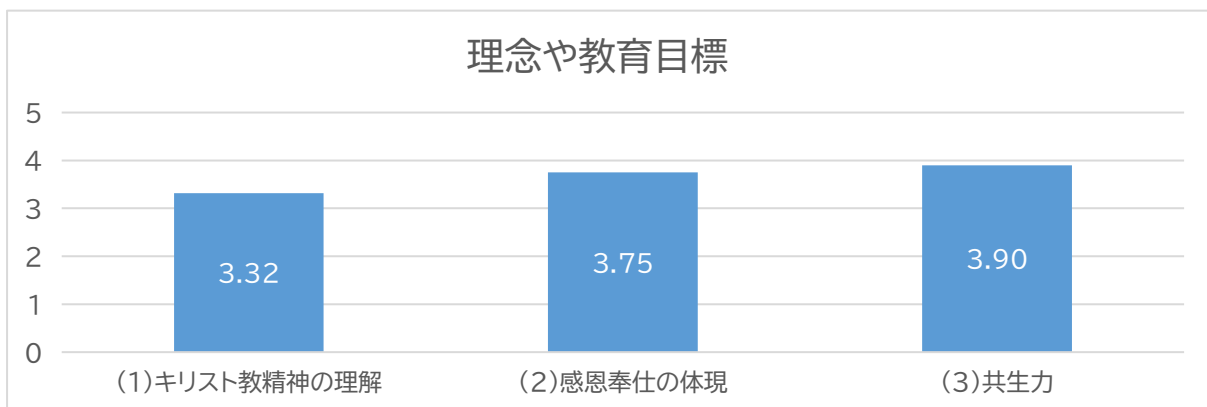


Q3-① 在籍時の学習成果がどのくらい身につけて活かされているか

- 5 身に付いている 4 概ね身に付いている 3 少しは身に付いている
2 あまり身に付いていない 1 身に付いていない

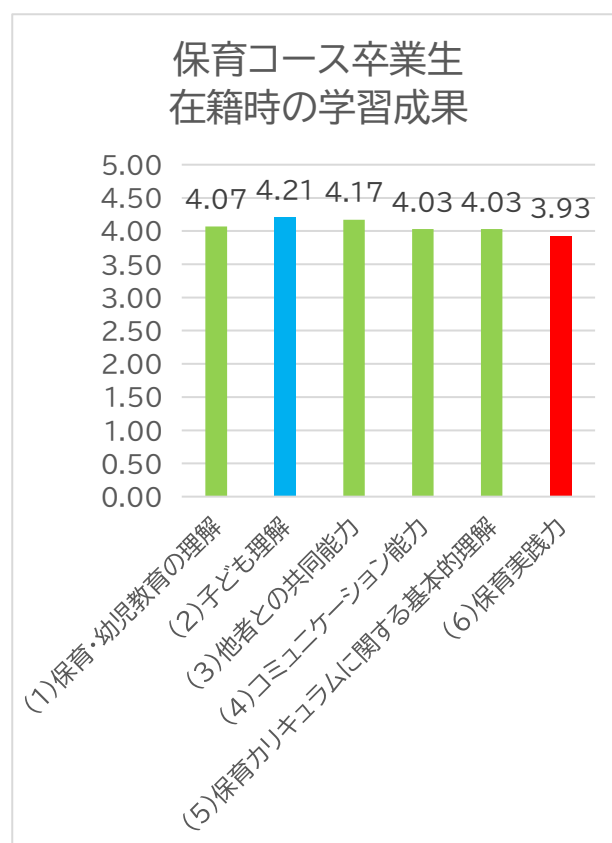
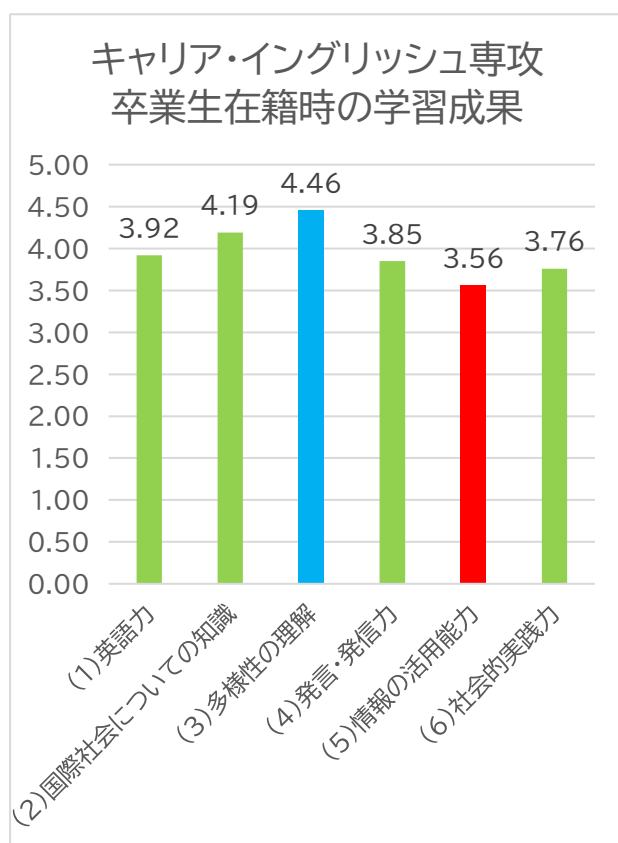
①本学の理念や教育目標について

	項目	内容
(1)	キリスト教精神の理解	キリスト教精神やそれに基づく感恩奉仕の精神を理解している
(2)	感恩奉仕の体現	ボランティア精神と倫理観を持ち、社会で自分の役割を果たしている
(3)	共生力	社会の動向に関心を持ち、また異なる文化や他者を理解し、その社会・文化の中で他者とともに協同することができる



キャリア・イングリッシュ専攻卒業生への質問(回答 13 名)

(1)	英語力	伝達媒体として英語の技能(読む、書く、聞く、話す)が向上している 英語の専門知識が身に付いている
(2)	国際社会についての知識	国際人となるための知識、世界情勢、グローバル・ビジネスに関する 知識が身に付いている
(3)	多様性の理解	日本を含む国際社会の多様なあり方・考え方を柔軟に捉えることができる
(4)	発言・発信力	修得した知識、自分の意見を言語化・具現化して表現できる
(5)	情報の活用能力	ITスキルを修得し、その知識・技術によって情報分析や情報発信に活用できる
(6)	社会的実践力	修得した知識・技能を実習や体験の場で活かすことができる

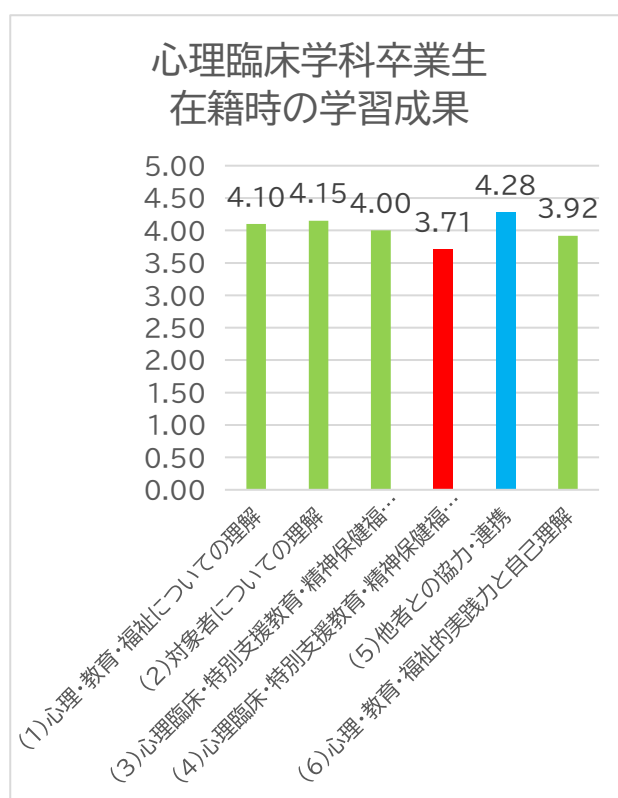
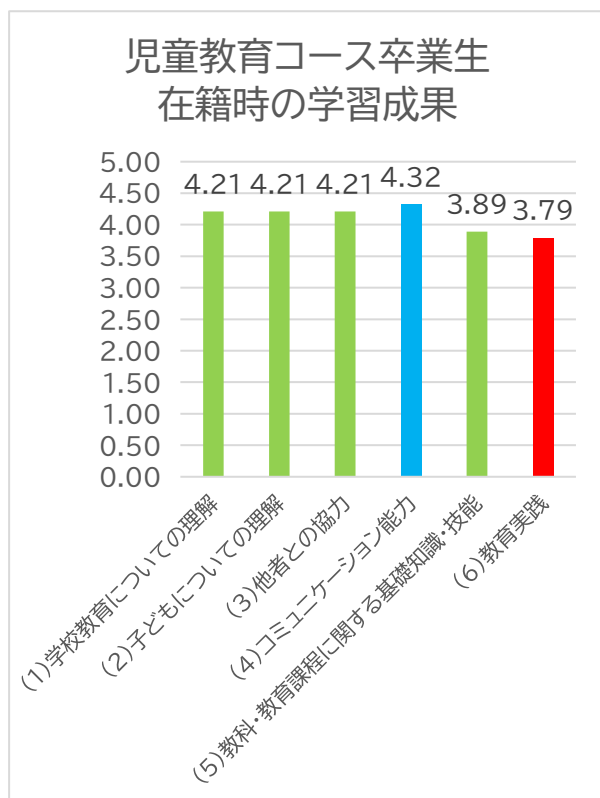


保育コース卒業生への質問(回答 14 名)

(1)	保育・幼児教育の理解	保育・幼児教育の意義、原理、理念、倫理観、法規、社会的役割に関する理解
(2)	子ども理解	保育心理学、発達心理学、保育・福祉、子育て支援に関する理解
(3)	他者との共同能力	グループワークの基本理解、保育現場における集団の理解、地域との連携に関する 基礎能力
(4)	コミュニケーション能力	保育現場における受容的態度、専門職としての対話能力、保育指導能力
(5)	保育カリキュラムに関する 基本的理解	保育カリキュラム、保育方法、情報機器の活用、保育指針・教育要領の基本的理解
(6)	保育実践力	PDCA サイクルを活かした保育計画立案と実践、クラス経営、子育て支援・家族支援の 実践力

児童教育コース卒業生への質問(回答 7 名)

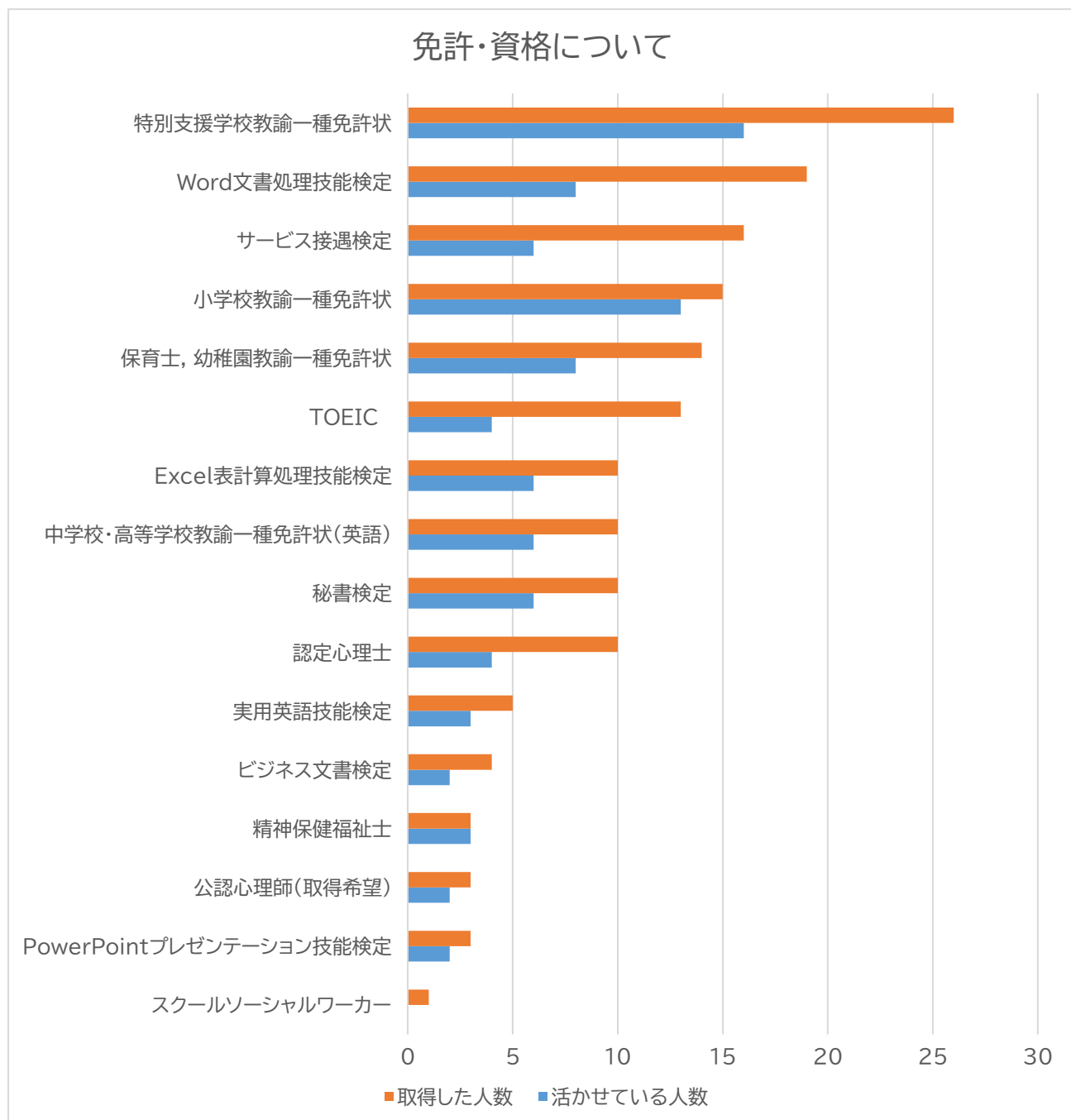
(1)	学校教育についての理解	教職の意義・理念・法規・教育史・社会的役割・地域の特色に関する理解
(2)	子どもについての理解	教育心理・教育原理・発達論・学習集団の形成・対応力に関する理解
(3)	他者との協力	他者意見の受容・保護者地域との連携協力・共同授業・役割遂行に関する理解
(4)	コミュニケーション能力	子どもに対する態度・公平・受容的態度・社会人としての基本・集団理解及び指導力
(5)	教科・教育課程に関する基礎知識・技能	各教科に関する基礎理論・知識・実践力・情報機器の活用・学習指導要領の理解
(6)	教育実践	教材分析能力・授業創造力・教材開発力・授業展開力・学級経営力に関する理解



心理臨床学科卒業生への質問(回答 27 名)

(1)	心理・教育・福祉についての理解	社会、思想・哲学、人権、ジェンダー、生命・医学などの幅広い視点で心理・教育・福祉を理解している
(2)	対象者についての理解	人間の発達的特徴や家族関係、障害児・者の特性、心の問題や精神疾患の特徴を理解している
(3)	心理臨床・特別支援教育・精神保健福祉に関する専門知識	心理職、特別支援学校、精神保健福祉士といった職種及び研究に必要な理論・思想が身に付いている
(4)	心理臨床・特別支援教育・精神保健福祉に関する専門スキル	心理職、特別支援学校、精神保健福祉士のいずれかに必要な査定・教育・援助・研究の技法や情報処理技能が身に付いている
(5)	他者との協力・連携	適切な感情・態度で他者やその立場を受容し、適切なマナーやルールのもとで他者と協力・協働できる
(6)	心理・教育・福祉的実践力と自己理解	自己および社会・現場を理解し、心理職、特別支援学校、精神保健福祉士のいずれかに関わる知識・スキルを活かした実践ができる

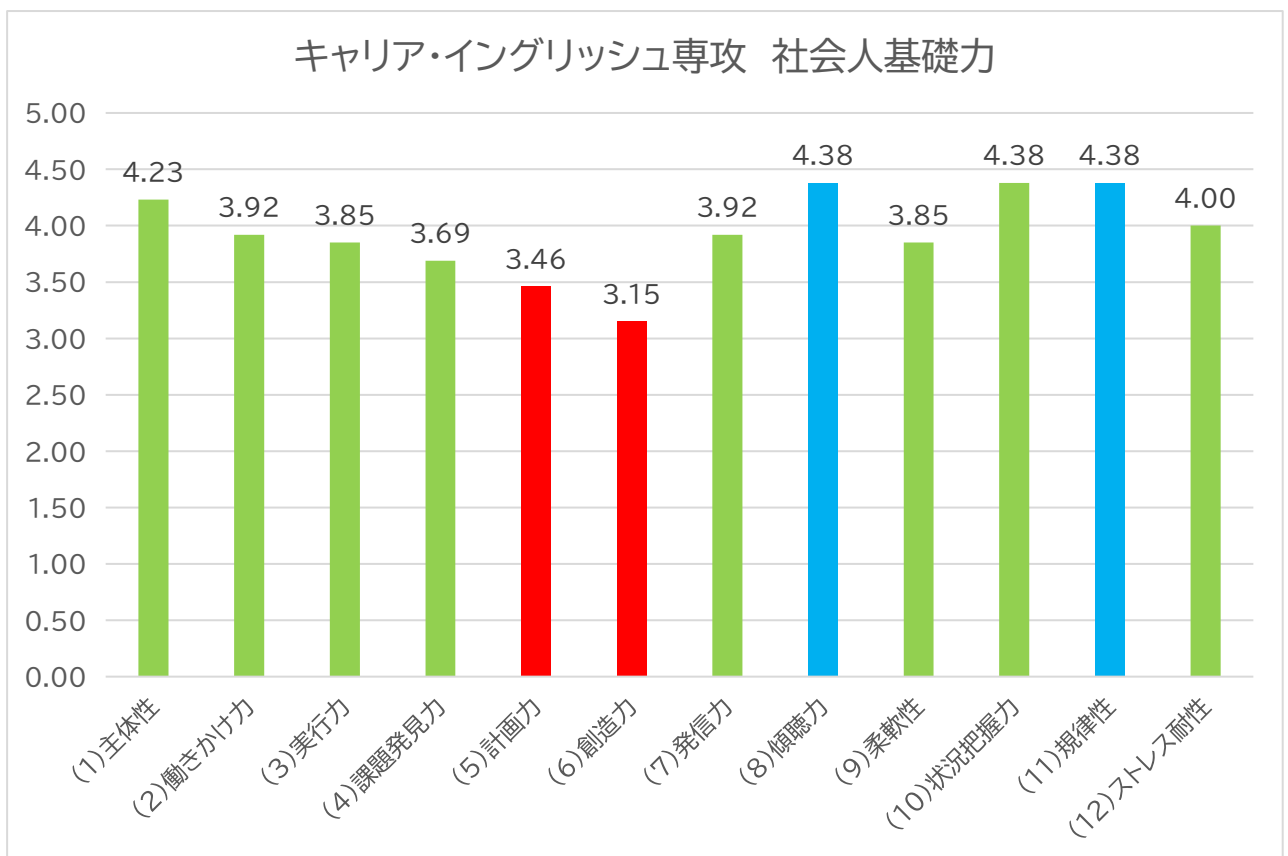
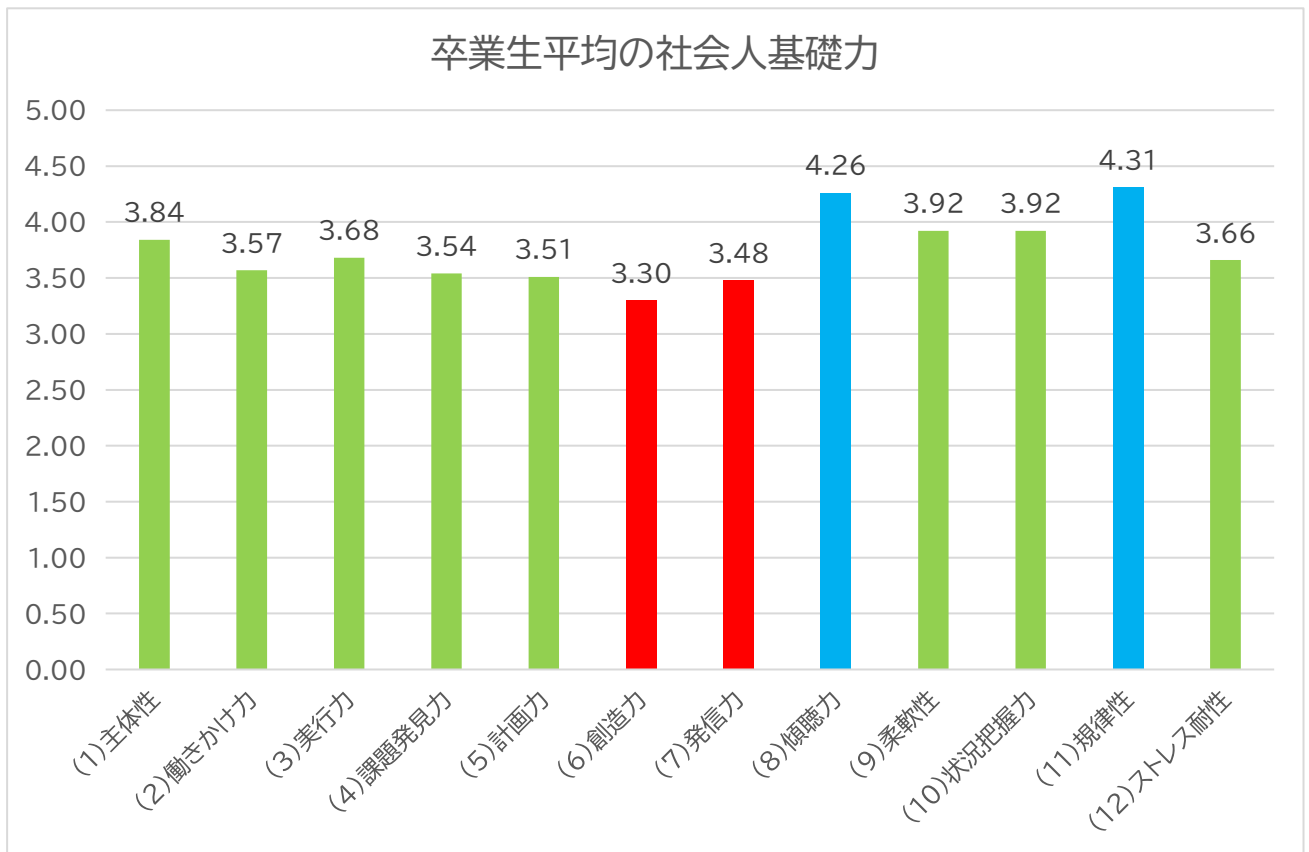
Q3-②③ 取得した免許・資格について、どれが活かされているか



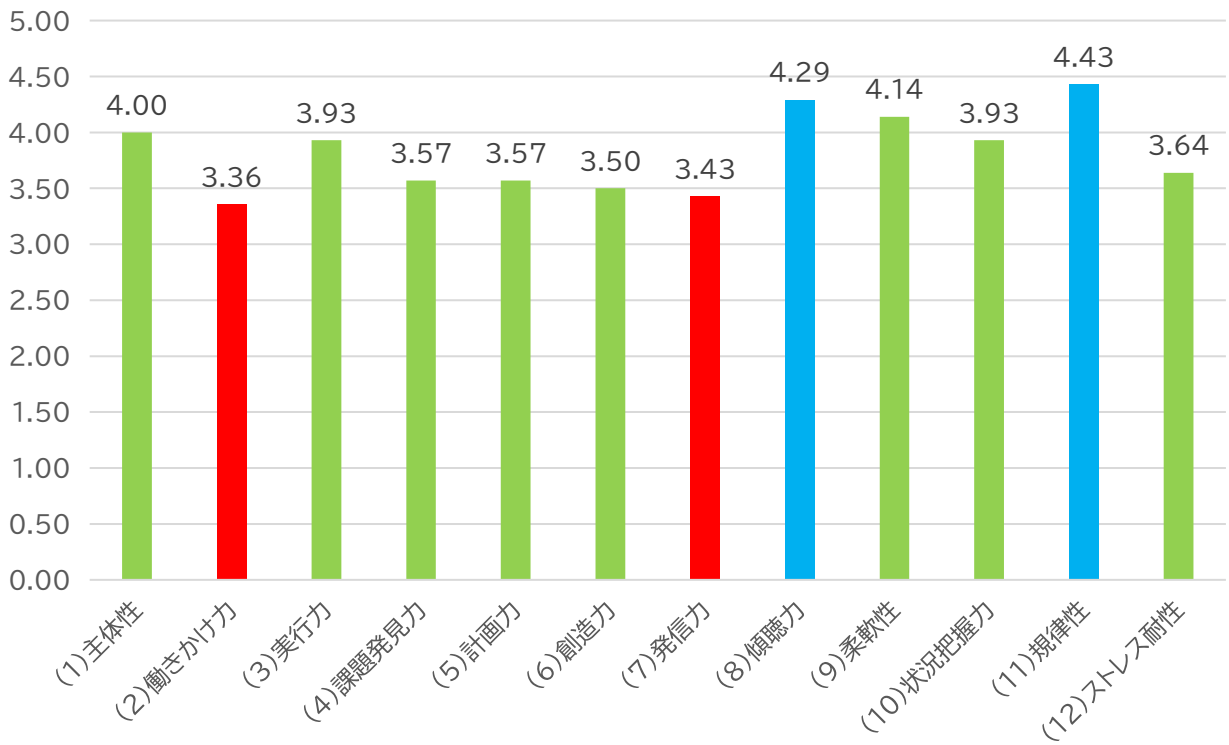
Q3-④ 社会人になって在学中に取得しておけばよかったもの

TOEIC、実用英語技能検定、幼保英語検定、簿記検定、Excel 検定、Word 検定、秘書検定、サービス接遇検定、PC 関係の資格、教員免許、特別支援学校教諭一種免許状、公認心理士、認定心理士、社会福祉士、旅行業務取扱管理者

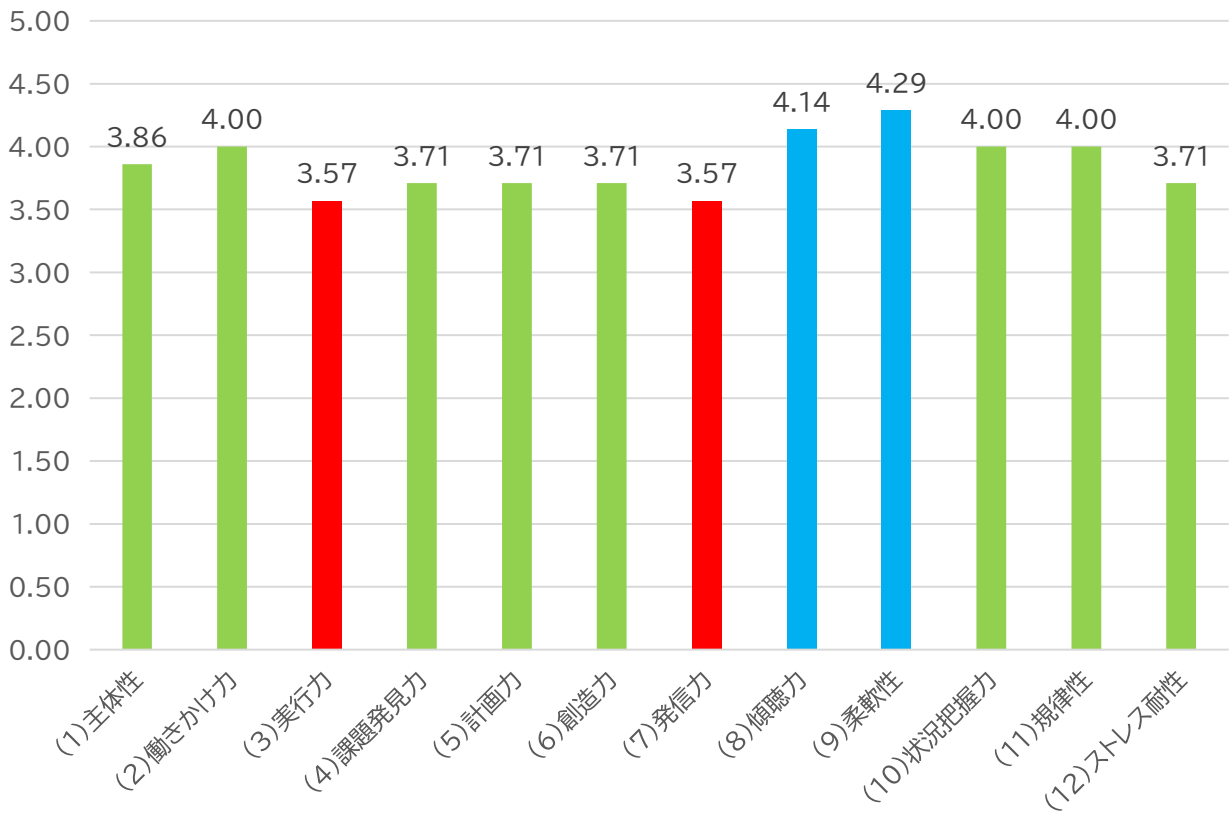
Q4-① 社会人基礎力を現在どの程度身に付けているか

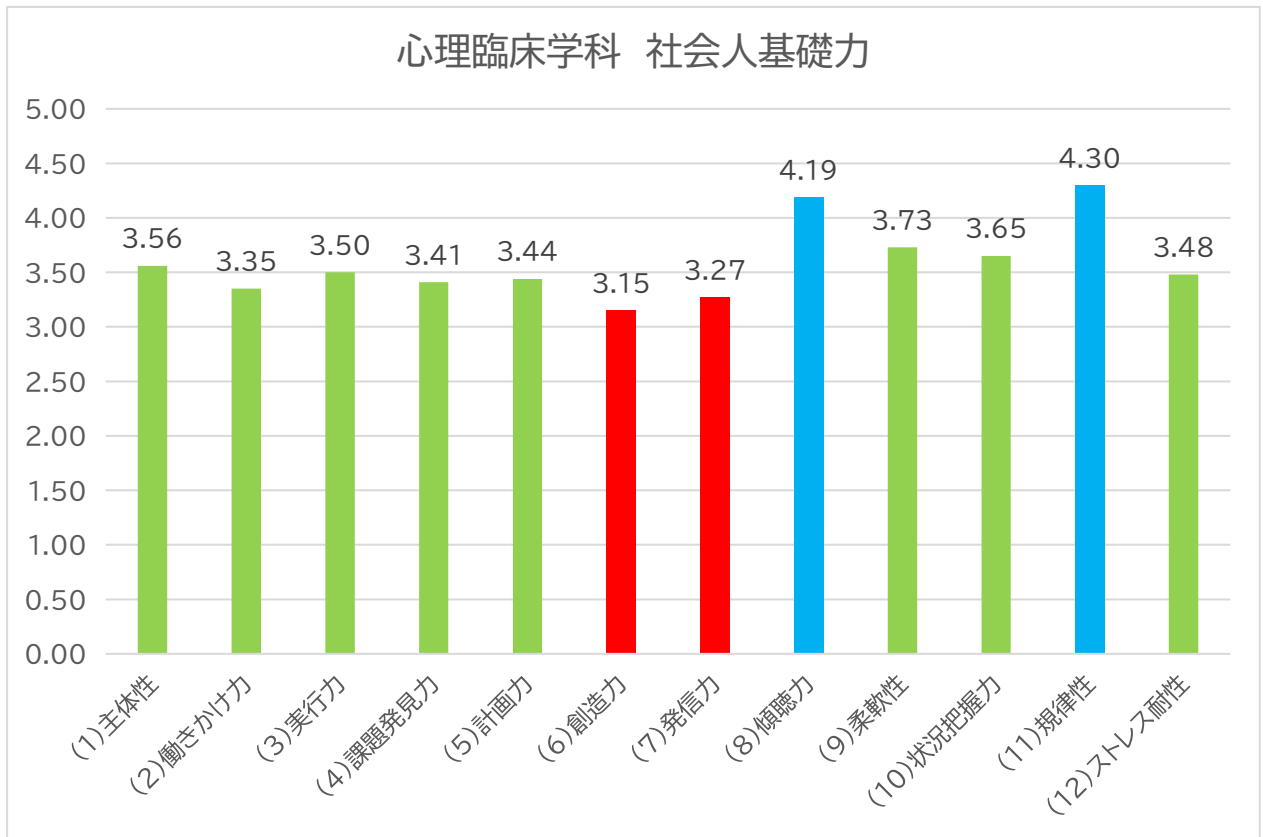


保育コース 社会人基礎力



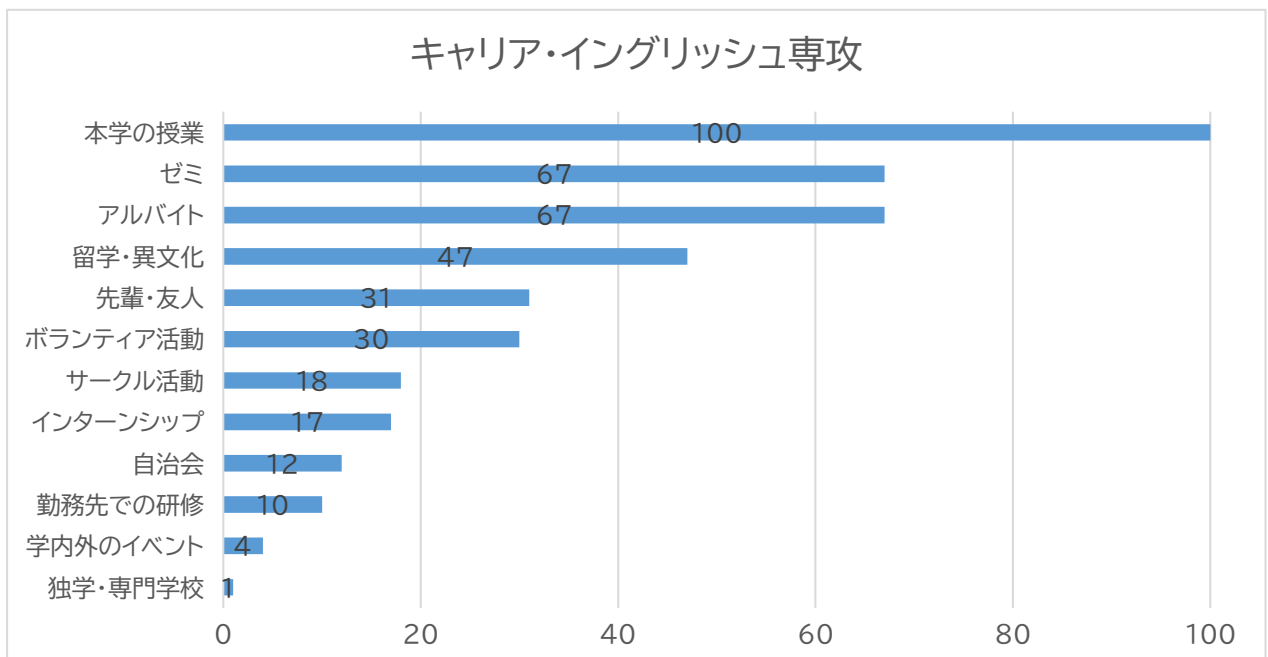
児童教育コース 社会人基礎力



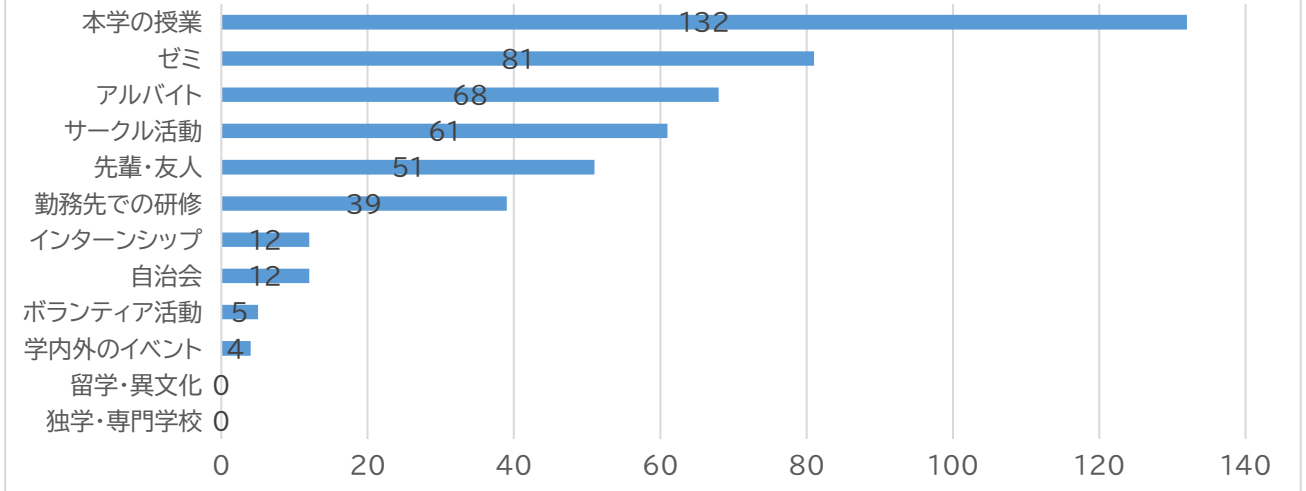


Q4-② 社会人基礎力を身に付けるのに何が役に立ったのか

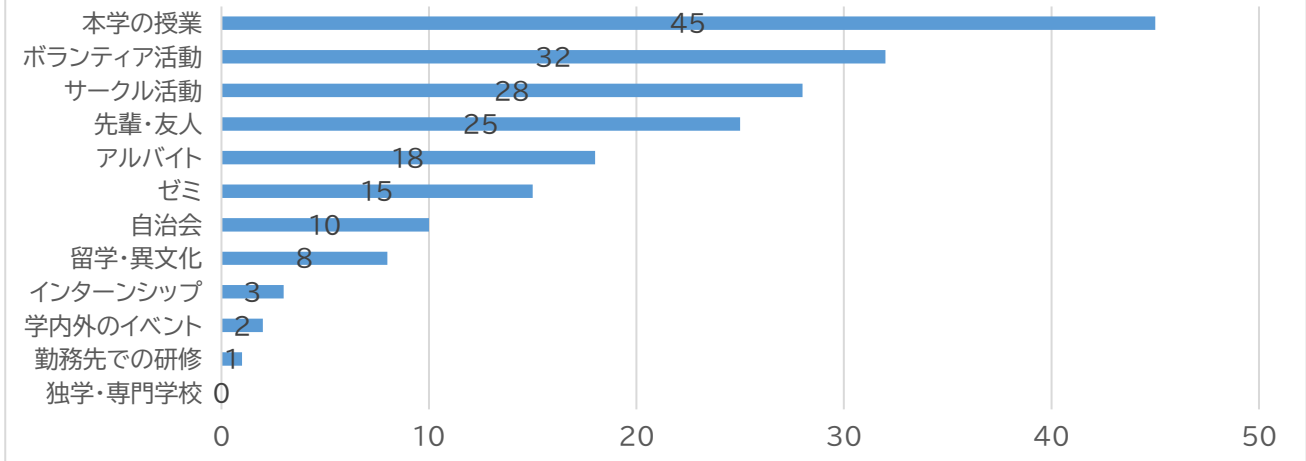
- 1 本学の授業 2 ゼミ 3 インターンシップ 4 留学・異文化 5 ボランティア活動
 6 サークル活動 7 アルバイト 8 先輩・友人 9 自治会 10 独学・専門学校
 11 学内外のイベント 12 勤務先での研修



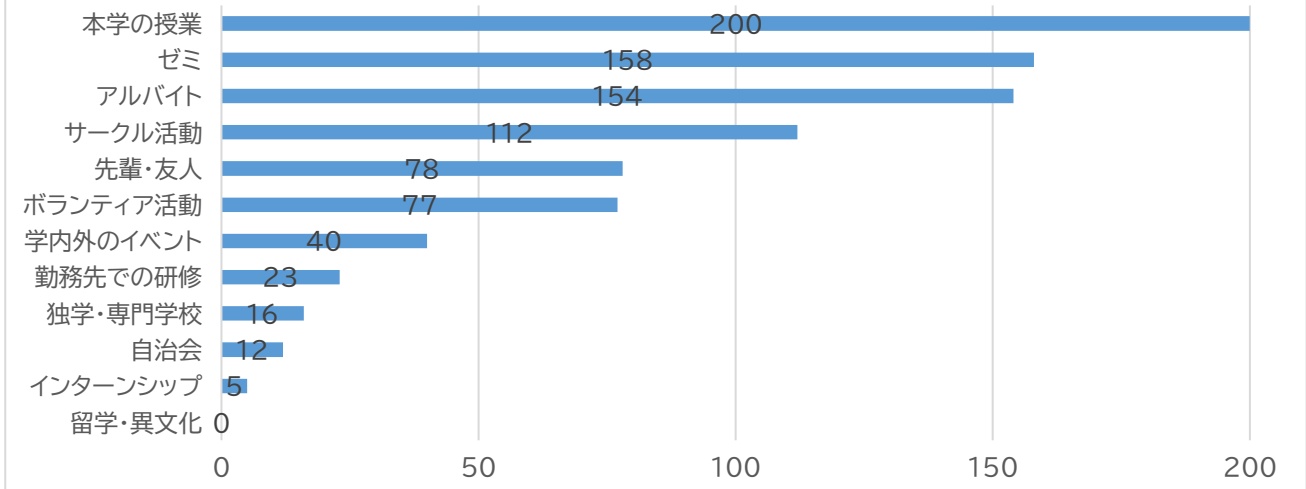
保育コース



児童教育コース



心理臨床学科



Q4-③ 実社会で必要と思われる社会人基礎力を 3 つ書いてください

順位	キャリア	保育	児童	心理
1	傾聴力	主体性	主体性	ストレス耐性
2	主体性	ストレス耐性	計画力	傾聴力
3	柔軟性	実行力	実行力	柔軟性

Q4-④ 社会人基礎力以外で、大学時代に身に付けておけば良かったことや、 在学生に身に付けて欲しい能力や資質をあげてください

キャリア・イングリッシュ専攻

- ・目上の人と話す時の語彙力、言葉の使い分け方
- ・報告連絡相談する力
- ・物怖じせずに挑戦する力

保育コース

- ・マナー全般
- ・ストレス回避について
- ・礼儀、メモをとる習慣

児童教育コース

- ・人との関わり合い
- ・課題発見力

心理臨床学科

- ・コミュニケーション力
- ・ビジネスマナー
- ・自己分析力
- ・段取り力と説明力と質問力
- ・周りを頼る力
- ・物事と感情のバランス

Q5 仕事をする上での悩み、課題やそれを誰に相談していますか

キャリア・イングリッシュ専攻

- ・すべきことが多く、上手くいかないことも多々ある。同僚に相談している。
- ・抱える業務に自分の能力が追いつかず、中々効率よくこなせないこと。先輩社員や上司にやり方を相談したりしながら要領を学んでいる。
- ・人間関係と仕事量が多く悩んでいる。信頼できる友人に相談した。
- ・仕事を覚える量が膨大すぎて、頭が回らない。同じ職種の友人に相談している。

保育コース

- ・職場の先生方に相談して、家にはなるべく持ち帰らないようにしている。
- ・繰り返し起こる子どもの問題行動に対し、どのように説明すれば理解していただけるか。職場の先輩に相談している。
- ・再び保育現場に戻ったときに、やっていけるのかが不安。
- ・同期や大学時代の友人に相談している。
- ・友達、母、職場の先生に相談している。

児童教育コース

- ・仕事先の先輩に相談している。
- ・多忙である。
- ・大学時代の友人に相談している。

心理臨床学科

- ・専門職としての知識や経験が不足しているのでは、と不安に思うことや悩みはあります。その際は同職種の先輩方に相談しています。
- ・問題把握ができて、それをどう支援していくかについて課題。
- ・自分の技術をどのようにスキルアップしていけばよいか。仕事の先輩に相談している。
- ・主となる教育係が不在のため先輩職員や上司に質問をするが各々違った回答になることが多くどの意見を取り入れるべきか分からない。また、共に働く人たちが皆忙しいため質問が非常にしにくい労働環境である。
- ・一般企業に就職したが、大学で学んだ心理学をどこかで活かせたらいいと思う。大学の友人に相談。
- ・悩みはその時で変わるが親や友人に相談している。

Q6 大学時代に有意義だったと思う授業はありましたか

キャリア・イングリッシュ専攻

- ・all English の講義はとてもためになりました。
- ・英文学や米文学について学んだ授業。異文化について触れる有意義な時間だった。
- ・エアライン講座・秘書学・コミュニケーションイングリッシュ
- ・サービス接客検定を受けたマナー講座の講義。社外の方から電話が来たらたとえ上司でも呼び捨てをする。エレベーターでのマナーなど、細かいことだけど非常に現実的で役に立っている気がする。
- ・シルック先生のゼミがとても勉強になった。男女平等のことで、広い視野と知識を持つことが出来て良かった。

保育コース

- ・保育の表現技術
- ・エプロンシアターなどの保育道具を作る授業は、役に立った。現場でも使っている。手作りのものの方が子どもの食い付きがとてもいい。
- ・グループワークでの事例検討
- ・実践系の授業やその時に作った製作物がとても役立っています。

児童教育コース

- ・フィールドワーク 人との繋がりを得ることができました。
- ・日英語比較

心理臨床学科

- ・精神保健福祉士関連の授業は信頼関係作りの中で相手に対してだけでなく自分自身にも必要なものであると感じた。
- ・発達心理学等 学んだことを現場で生かせるから
- ・Speech & Debate 問題について調べ、まとめる力が身についた。
- ・ボランティア体験学修 ボランティアを実際に行い、自分の世界を広げることができた。
- ・心理実習。実際に心理士がどんな働きかけをしているのか知ることが出来たから。
- ・心理学の講義全般。知識が直接活かされることもあるが、人間や事柄そのものを俯瞰で見れるようになり、自己理解と他者理解と状況理解ができるようになった。
- ・西先生の強みを見つけるストレングスの授業。社会に出た時に自分は何で戦えるか、他の人と比べてどういう強みがあるのかを見つけ出す時に授業でそういう取り組みがあったことを思い出して振り返ることができたが、一般の人だとそういう言葉すら知らないし、外部の人にやってもらいフィードバックももらうとなったら費用がかかるためかなり有意義な時間だったと感じたから。
- ・ゼミでの時間は、同級生と意見交換しつつ関係性も深められ、他者の意見を取り入れるという意味でも、とても有意義でした。

Q7 本学全般にわたってのご意見はありませんか

キャリア・イングリッシュ専攻

- ・感染症対策の面もあると思うが、生徒に考えや意見を求めるような授業がもう少しあって欲しい。
- ・授業だけでなく、プライベートでもいつも大学の先生方にサポートしていただいたおかげで、とても充実した4年間を過ごせました。
- ・卒業した今でも繋がっている先生方もいらっちゃって、とても心強いです。ルーテル生はとても良いという評判に恥じないように、日々頑張っていきます。
- ・勉強も大事ですが、人との関わり方や苦手な人とどう関わっていくか、ストレスとの向き合い方などの解決方法を模索してください。社会人になってからはそんな余裕は無く、ちょっとしたことで仕事に行けなくなった同期が何人もいました。
- ・成績をメールで送付してほしいと思いました。

児童教育コース

- ・教材開発力を高める授業を充実させると現場でも活躍できると思います。
- ・教育実習前には授業の見方を学習し、授業参観用のワークシートを配布するなど、具体的な指導が必要だと思います。
- ・先生方との距離が近く、なんでも相談しやすい関係性には助けられました。

心理臨床学科

- ・教員初め学校職員の方々と学生との距離が近く、何事にも親身になって相談に乗って下さるのでとても安心感がありました。本当に自慢の母校だと思います。
- ・規模の小さいコミュニティであったこともあってか、とても先生方との距離も近く、なんでも相談しやすかったです。ルーテル大学に入ってよかったな、と常々思っています。
- ・提出したレポートに対するフィードバックが欲しかった。
- ・他の学科の授業も選択できると幅が広がると思います。
- ・公務員試験の対策講座があれば良いと思う。
- ・心理学はあくまでも補助的な専門知識であるため、心理学で稼いでいる人や心理学でこれから何かを起そうと考えている人の話を大学時代に聞けたらよかった。

*卒業生アンケートに対する各学科、専攻、コースからの所感

キャリア・イングリッシュ専攻

ルーテル学院大学卒業生として、私たちの卒業生はとてもよくやっているようです。彼らは一生懸命働き、努力し続けています。仕事上の悩み、課題を抱えている方もいるようです。キャリアを始め、積み重ねていくのは難しいことも沢山あると思いますが、解決策を見つけ続ける姿を見るのは嬉しいことです。意見や情報をくださってありがとうございました。

保育コース

学習効果は一定高いと評価する。社会人基礎力についても一定身につけていると思うが、発信力、働きかけ方など、学生自身の主体的行動についてはさらなる教育・支援が必要であろう。特に授業、ゼミ活動など学生と教員の関わりの中で身につけることも多いため教員も意識しておくことが必要である。ただし、現場に即戦力で役立つ授業だけでなく、普遍的な理論や考え方など、大切にしてほしいと考える。

児童教育コース

教員不足の影響と相まって、採用試験の結果は出ているが、既に退職者も出ており、学生達が「学び続ける姿勢」や「他者に頼る姿勢」、「ある程度割り切る姿勢」等、就職後のあり方についての指導も検討しなければならない状況であると感じている。また、卒業生からの「実習先での授業の見方についての指導及び授業参観用ワークシート」の要望に関しては、学生の思考が機械的・作業的になる危険性と表裏一体でもある為、慎重に検討したい。上級生との自主企画による交流の中で経験談を共有してもらう形や、職場体験学習における指導等、類似形態についても検討したい。

心理臨床学科

「在籍時の学習成果」「社会人基礎力」の各項目の平均得点は、すべて 3(少しは身につけている)を超えていたこと、自由記述の内容とあわせて、卒業生が本学での学びの成果をある程度自覚してくれていることがわかる。しかし、社会人基礎力の平均得点はすべての項目で全体平均を下回っており、人文学科の学生と比較すると自己評価が低い点が気になる。授業やゼミの中で専門性+社会人基礎力を育む活動に取り組むと同時に、「すでに身に付いている力」についても意識的にフィードバックしていく必要があるかもしれない。